

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区伊興地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月7日 【評価委員会】令和7年8月13日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目		中項目		確認項目			
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2			
		指定管理者	担当課	評価委員会			
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	20.8 (満点30点)	
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)		
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)		
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】今年度パート職員を積極的に採用。主に窓口業務に従事してもらい、正社員の負担を軽減した結果、正社員の有給休暇取得率が20%向上した。また、主に新規採用のパート職員を対象とした体育館使用の研修をおこない、各競技で使用する備品や用具の設置方法(卓球台の準備、コートのネット張り等)を理解し、利用者へのサービス向上を図った。				
		【改善すべき点・課題等】新規採用したパート職員のスキルアップに重点を置く。予約システム操作の迅速化の研修会や主催事業の理解度テストを行い、利用者にストレスのかからない接客業務を目指す。					
		区 記入欄	【特記事項】項目2について、センター独自に有給休暇取得率向上に向け取り組み、取得率を増加させた点で、水準点に1点加点する。項目3について、利用者の立場に立った体育館の利用ルールと設営に関する研修を新たに実施した点で、水準点に1点加点する。				
		評 価 委 員 記 入 欄	【評価すべき点】研修による利用者へのサービス還元が期待できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】有給休暇を取りやすくするといったことは本来業務の問題であり、また、適切な業務の進め方を心がけていく中での休暇取得に対処してほしい。				
		B 安全性 の 確保	施設の安全性は確保されているか		評価点		
	指定管理者		担当課	評価委員会			
	1		施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	3.0	3.0	12.8 (満点20点)	
	2		施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0		
	3		利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	3.0	3.0		
	4		危機管理(防災・防犯・事故対応)が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	4.0		
	指定 管理者 記入欄		【アピールポイント】施設保全責任者の提案で、普段の巡回では見落としがちな「自分だけの巡回ポイント」を全職員に設定させ、自身の巡回時にはその設定ポイントを念入りに見るよう指示した。パート職員により、カラスの営巣や苔による外階段の転倒リスクが早期に発見され、取り組みの効果が現れた。				
	【改善すべき点・課題等】各部屋・貸出施設に2人一組の施設保全チームを割り当て、床や壁、備品の不具合を早期に発見する点検体制を整える。特に体育館の床傷等の不具合は怪我に繋がる恐れが高いため、3人一組体制のチーム構成も検討する。						
	区 記入欄		【特記事項】項目4について、職員の雨天時の日常巡回により、苔の影響で転倒の可能性のある箇所を発見し、早急に高圧洗浄機での清掃を行った。施設の設備点検は仕様書の範囲内であるが、早急に対応をとり、利用者の事故を未然に防いだ点で水準点に1点加点する。				
	評 価 委 員 記 入 欄		【評価すべき点】外階段の苔などの清掃は通常業務であるが、随時チェックをして対応している点は評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】点検体制の検討に賛成する。また、外階段の高圧洗浄機での清掃について、長靴をはいた作業は転倒しやすいため、注意してほしい。				

C 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3.0	3.0	10.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	5.0	4.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】ISOの内部規則で定めた「情報セキュリティ活動七か条」に準じ、年4回の個人情報保護研修を実施したほか、施設長及び個人情報取扱責任者が、朝礼で定期的に注意喚起をし、個人情報の適正管理の意識付けをさせた。			
		【改善すべき点・課題等】今後も個人情報等の漏えい事故がないように、職員に毎月「ISO実施確認リスト」を提出させ、常に個人情報保護の意識を持ってもらう。			
区記入欄	【特記事項】項目3について、個人情報保護に関する研修を新たに行った。個人情報保護に関する研修を行うことは仕様書の範囲内であるが、肖像権・著作権に関する研修と合わせて実施し、施設の職員だけでなく、伊興センターで活動するボランティアにも参加を呼びかけ、センター全体の個人情報保護に対する意識向上に取り組んだ点で水準点に1点加点する。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】法令等の遵守は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支 (12,456千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】ベテランの経理担当者を中心とし、区歳入をはじめとした出納業務は適正に行われた。また経理担当者不在時でも、本社および他センターの経理担当者とのネットワークがあり、不測な事態にも対応が来ている。収入面において、講座によってばらつきがあるが収入は安定しており、黒字を計上している。			
		【改善すべき点・課題等】長期での同一人物による経理作業は、ミスを見逃しやすくなるほか不正の温床にもつながる恐れがある。また中堅職員のスキルアップも考慮し、次年度は経理担当者の変更を検討する。			
	区記入欄	【特記事項】多数の独創性の高い講座の実施により収支は黒字であり、還付ミスもなく適正な出納業務を行うことができていた点の評価する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】講座収入はトータルで黒字を計上できている。 【改善すべき点】 【その他注意点】		

大項目		中項目		確認項目			
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか		評価点			
				指定管理者	担当課	評価委員	
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	17.9 (満点20点)	
		2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0		
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】SNSの主な発信情報手段でもあるLINEのトーク画面下部に、メニューの固定表示ができる「リッチメニュー」を導入。利用者の目を留まりやすくし、クーポンや当社が管理するホームページへのリンクを設定し、宣伝効果を高めた。既存事業の見直しは147件。受講者数が伸び悩む講座や利用者や講師の声に対して常に改善策を模索、具体化することで、利用者の満足感を高め、リピーター獲得に繋げた。「親子でおいしい手作りランチ アツアツ豚まん」や「こどもアートひろば」など、子どもを対象とした新規事業も積極的に展開した。				
			【改善すべき点・課題等】LINEを含めたSNSでの情報発信を充実させていく。また、従来からのミニコミ紙やチラシなどの紙媒体も含めて、それぞれの世代に合った周知方法で施設や講座の魅力を積極的にPRし、センター利用への促進につなげたい。前年度減点対象となった図書館休館日誤植については、「作成チェックシート」を見直し、各ページに合わせたチェック内容に改良した上で、確認スキルの高い数人を校正担当に任命し、責任感を持たせてチェック精度を上げた。未承諾の写真掲載については、新たに「写真掲載承諾書」を作成し、講座等での写真撮影の承諾を得る対策をした。また、「写真に関する研修会」を実施し「著作権・肖像権・プライバシー権」などの写真を撮る時・発表する時の注意点を学び、取り扱いの重要性を職員に意識付けした。				
		区記入欄	【特記事項】項目1について、おすすめの講座やその講座の対象者を表すカラー見出しPOPを新たに設置し、チラシの視認性を向上させることで講座情報のPR強化を行った。取り組みにより、チラシによる問い合わせが増えるなど、実際にチラシを手にももらえる機会を増やしている点で水準点に2点加点する。また前年度減点対象となったミニコミ紙の図書館休館日等の誤植について、今年度は各種取組みの実施により、ミニコミ紙に関する事故は発生しなかったため、改善したと考える。項目2について、利用者アンケートの結果を反映させ、従来のエクササイズに関する講座に希望の多かった「ピラティス」を追加するなど、A型既存事業の見直しを行った。利用者の意見を参照しながら事業を改善し、確実に利用者増加につなげている点で水準点に2点加点する。項目3について、地域の子どもたちにアートを通じて挑戦する力や感情表現、自己表現を身に付けてもらうことを目的にこどもアートひろばを実施した。取り組みにより、子どもたちに自己表現の楽しさや芸術への関心を喚起させるなど、学習の機会を提供したとして、水準点に2点加点する。				
		評価委員記入欄	【評価すべき点】各種事業の評価と見直し、新しい講座の開設など積極的な活動が行われている。子どもを対象とした「アートを通じて自己表現を楽しむ」といった企画が良い。今後も事業等により、子どもたちへの働きかけを継続的に行うよう期待する。なお、項目1の前年度減点事項については、チェック体制の見直しや職員の意識向上が図られ、誤植も未発生であることから、改善したと判断する。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

B 学習支援の取り組み	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	5.0	4.0	14.0 (満点15点)
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
指定管理者記入欄	【アピールポイント】昨年に引き続きサークル支援講座に力を入れた。実施件数18件、計13人のサークル入会につながり、支援を行なった登録団体から感謝の言葉をいただいた。体育館の個人利用（無料公開日）では、新たにミニバスケットボールの種目を追加し、小学生が利用しやすい環境を整えた。近隣の地域団体や関係団体、区内施設と連携先は47団体にのぼり、「伊興まつり2024」をはじめ、「いこうファミリー縁日+おはなし会」「機械の中身を見てみよう！ドキドキ解体ショー」（いずれも親子向け）、「エンディングノートと在宅医療」「季節の手仕事！干し柿を作ろう」「はじめての写経（連携先のお寺で開催）」など、多岐にわたる事業・講座を展開、50事業に延べ4,000人以上の参加者があった。また、新たなボランティア講師を採用し、地域に営業する「ツミ」という野鳥の写真撮影の講座も開催した。				
指定管理者記入欄	【改善すべき点・課題等】近隣のスイムスポーツセンターが令和5年12月に再開した影響か、トレーニングルームの新規登録者、既存登録者ともに減少した。今後は若い世代のユーザーが比較的多いとされているInstagramを中心にSNSを通して積極的な広報活動を展開していき、トレーニングルームの告知に努めていく。				
区記入欄	【特記事項】項目1について、子どもの体育館利用増加につながったか成果が明確でないが、新たに体育館個人利用種目を増やした取組を行った点で、水準点に1点加点する。項目2について、伊興センター周辺の16団体、約60名と連携し、各団体の発表会や地域農協の物販、ポッチャなどの体験会を主とした「みんなdeいこう」を開催した。約360名が来場し、参加団体と参加者がつながりを持てる機会の提供および地域連携強化を図っており、水準点に2点加点する。項目3について、伊興地域には庭に柿の木のある家が多いことから、子育て世帯を対象に「干し柿づくり講座」を実施した。地元農家から柿を購入することで地産地消に貢献し、参加者への啓発にもつながった。また、多くの参加者に伝統食文化の学習機会を提供しており、水準点に2点加点する。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】多岐にわたる活動を展開し、一定の成果もあげている。広報充実の上で、さらに参加者や利用者の増加へと繋げてほしい。また、地域特性を生かした干し柿づくり講座は、地域の方もボランティアで参加できる点が良かった。伝統食文化の継承については更なる発展を望む。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

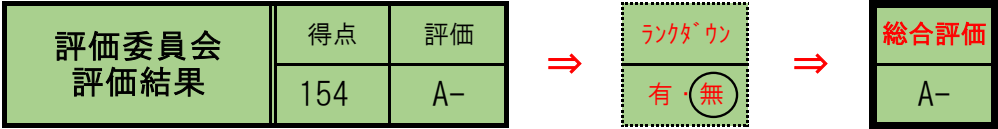
C 図書館事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】読書推進活動について、出張自転車図書館の出張回数を増やしたり、小学生ボランティアの活動を本格的に行った。			
指定管理者記入欄	【改善すべき点・課題等】利用者参加型のイベントを行い、伊興の小さな博物館に飾れるような展示物を徐々に増やしていく。				
区記入欄	【特記事項】新聞閲覧整理券や閲覧席への注意書きによる周知は、利用者間の公平性の観点から効果的であったと考えられる。また、図書館外での本棚チャートの掲示では、センター利用者に対しても図書館利用をアピールできている点や児童がいつもとは違う資料を手に取りやすいよう工夫がされていることで、児童の読書推進にも繋がっている点が評価できる。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】新聞閲覧整理券や図書館外での本棚チャートの掲示などの工夫は評価できる。 【改善すべき点】本棚チャートの取り組みは評価できるが、もう少し字を大きく読みやすくできるのではないかな。 【その他注意点】				

	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の 状況	1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設47%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値 63.5%（前年度利用率+3%）	3.0	3.0	5.0 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（186,526人） ※基準値/176,747人 貸出冊数（174,755冊） ※基準値/180,567冊	2.0	2.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】学習施設の利用率57.7%、体育館の利用率97.9%と、ともに利用率の基準値を上回った。利用率が低い教養室に「リセットヨガ」と「初めての日本舞踊」講座を新設、事業の開催コマ数を昨年の102コマから128コマへと上げた。図書館の利用人数は、出張おはなし会などのアウトリーチを積極的に展開、広報活動を強化したこともあり、昨年より7,500人増えた。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】定期活動をしていた学習登録団体の解散もあり、第2学習室と教養室の利用率は減少。今後はSNSで施設利用方法などの情報発信を定期的に行うほか、引き続き新規講座の開催に力を入れ利用促進に努める。図書館でも、来館者は伸びたものの貸出冊数の増加に繋がらなかった。貸出が増加している施策連携特集に工夫を施した特集棚づくりを行っていく。			
	評価委員記入欄 【特記事項】項目1について、基準値は超えているが、学習施設利用率が57.7%と前年度と比較し2.8%減少している。教養室を利用した講座新設の取り組みは評価するが、SNSを利用した広報活動等のより一層の強化により利用率増加につなげてもらいたい。項目2について、貸出冊数が基準値に達さなかったため、水準点より1点減点する。また、利用者前年比増加率、貸出冊数前年比増加率ともに加点基準に未達のため、加点はしない。			
E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
	指定管理者	担当課	評価委員	
	1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】実施回数は前年度より17件多い57件、参加者数も昨年比20%となる805人と順調に参加者数を伸ばしている。昨年好評だった「いこうファミリー縁日+おはなし会」も246人の集客があり、その場で41名のLINEのおともだち登録者を獲得した。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】「読書または文化からスポーツへの関心を促すプログラム」について、今年度は開催回数が少なかったため、次年度は新規講座の開催に力を入れる。また、次年度も開催を予定している「いこうファミリー縁日」において、新たな協力団体を開拓し、地域密着型のイベント開催を目指す。			
	評価委員記入欄 【特記事項】ブックトークを交えたコーヒーの淹れ方講座など複数の新規企画を実施したほか、新たな利用者獲得に向けたポイントカードを導入した。3分野連携事業のキャンペーン対象プログラムに1回参加する毎に1ポイント貯まり、3ポイント貯めると講座の無料体験チケットを受け取れるが、結果としてポイントカードを144枚配布し、10名が無料体験チケットを使用したことから、取り組みが継続的な参加につながったとして、水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】各種の新規事業を開始するなど、積極的な活動が行われている。 【改善すべき点】センターも認識しているとおり、開催回数と新規立ち上げのバランスについて、検討してほしい。 【その他注意点】			

5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか (評価点×3)		評価点×3		
		指定管理者	担当課	評価委員
F 主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか		22.5 (満点30点)
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか		
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】ボランティア講師を起用した講座を開催。ボランティアから要望のあったスキルアップ研修として著作権や肖像権を学ぶ「写真に関する研修会」を、当社従業員と合同で開催。「今後のボランティア活動をするにあたって不安が取り除けたので、さらに頑張りたい」と意欲を示された。ボランティアと協力して伊興地域の名所・見どころ・フォトスポット・地域商店などの魅力を紹介する「伊興地域マップ」の第1弾として「春のお花編」を作成し、配布を開始。館内だけで3週間で250枚以上持ち帰られ、近隣商店等含めて約1,000部配布した。令和7年度はボランティア活用事業（野鳥撮影等）の継続開催と「伊興地域マップ」シリーズを継続発行する。 「新米講師チャレンジ相談会」では8人発掘し、新たに2人のデビューにこぎ着けた。新米関連講座は計画112件、参加者850人、新規講座5種、新米講師によるアウトリーチ事業は「舞いトレ（日本舞踊を基にした筋トレと体操：ケアホーム足立）」と「おしゃべり歌声脳トレ（歌と脳トレと交流を楽しむ：ウエルガーデン伊興園）」の各体験版を計2件実施となった。令和7年度は新米講師が活躍できる場（会場・イベント等）の拡充を目指す。		
		【改善すべき点・課題等】新米講師チャレンジャー向けのスキルアップ講習については、チャレンジャーより要望がなく未実施となった。次年度はこちらから講習内容（コミュニケーションスキル、話し方・説明の仕方、作品撮影テクニック、他講師との情報交流会等）の提案をしていきたい。		
	区記入欄	【特記事項】地域ボランティアの要望に基づく研修の企画実施、講師に挑戦してみたい地域住民への活躍の機会提供、商店やフォトスポットなどを掲載したマップの作成・配布など、地域人材・資源を活用し、地域の魅力を意欲的に発信した。新たな新米講師の発掘や新米講師によるアウトリーチ事業の実施など、地域資源の認知度および近隣住民の地域愛着度の増加を目指す取り組みを拡大させることができた。次年度は新米講師へのスキルアップ講習を実施するなどサポート体制を整え、地域資源が持つ魅力をより広めることができるよう期待する。		
評価委員記入欄	【評価すべき点】各種の豊富な企画を立てている点は評価したい。また、新米講師など、地域の中から人を育てる取り組みは良い。 【改善すべき点】各種企画が若干空回りしているようにも見受けられる。反応が鋭敏に出てこなくて鈍いというのは、利用者が求めているものとずれている懸念がある。 【その他注意点】新米講師チャレンジスキルアップ講習については、講師にとって必要なスキルなどを自ら認識することが難しい場合もあるため、今後もセンターからの働きかけを行ってほしい。また、ボランティア講師のまち歩き撮影会、新米講師の日本舞踊の企画は面白く、講座参加者に関連本をオススメしたり、タイアップさせて特集を組むなど、発展の余地があるのではないかな。			

利用者の満足を得られているか（評価点×2）		評価点×2			
		指定管理者	担当課	評価委員	
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.2 (×2)	33.2 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.7 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.1 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.6 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】アンケートの自由意見を通じて、設備維持満足度について感謝の言葉を多くいただいている。満足度の数値も96.4%（満足70.8%、やや満足25.6%）と昨年の数値を1.2ポイント上回った。今後も「きれいで使いやすい伊興センター」を目指し、日々の清掃、設備維持にあたる。			
		【改善すべき点・課題等】運営満足度の数値が87.7%と、前年度と比較して約5ポイントの減少となった。図書館の満足度についても9割を切っている数値であった。新しいスタッフのスキルアップを図ると共に、ベテラン職員の接客対応や業務スキルを改めて見直す機会を作り、満足度向上を目指す。			
	区分記入欄	【特記事項】施設維持満足度（施設の清潔さ、使いやすさ）に関して「いつも清潔に保たれていて心地よいセンター」「きめ細かい気配りがありがたい」などの感謝の言葉をいただいている一方、運営満足度は5%ほど減少している。令和6年度は職員の入れ替わりもあったため、令和7年度は新しいスタッフの育成に注力するなど、満足度向上に向けた施設運営に期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】学習センター、図書館ともに施設維持満足度は高い。 【改善すべき点】利用者の運営満足度については、アンケート自由意見などを注意・参考にしてほしい。 【その他注意点】			
	合計点		107.0 (満点130点)	133.2 (満点170点)	154.2 (満点200点)
	特記事項 （評価委員会による総合評価を記入）		多岐にわたる企画、各種の積極的な活動が行われている点は評価できる。新米講師チャレンジ事業では、自分の得意なことを生かして活動したい方を発掘し、地域の活性化につなげている。新米講師をはじめとする地域の特性を生かした講座を通じたコミュニティは興味深い。古き良きものを伝承していく取り組みが評価できる。ただし、利用者に必ずしも求められていない活動や利用者からの反応の鈍さなど、活動が若干空回りしているようにも感じられる。図書館事業に関して、地域連携含め意識して企画されているが、施設利用が図書の貸出に繋がらない点は、より動機づけにおいて工夫されたい。利用者マナーに関しては、改善に向けた対応に苦慮すると思うが、それによる利用者離れが生じないよう、引き続き対応してほしい。		

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-D項目2における減点事項について、来館者数は増加している一方で貸出冊数が減少している現状については、様々な視点から分析し、より貸出につながるような工夫を期待したい。

＜評価委員会評価基準＞

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、 「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。